

【 東京都食品安全審議会答申の概要 】

1 リスクコミュニケーションの必要性

- 食品の安全性に関する情報の共有化と正しい理解が必要
 - ・ 情報の透明性・信頼性の向上
- 一定のリスクが存在することを前提に、その対策と安全性について意見交換が必要
 - ・ 関係者の相互理解、役割の認識
- リスク低減に向けた関係者の協力に基づく取組が必要
 - ・ 風評被害の防止、合理的な食品選択、自主管理の向上、社会全体でリスク低減

2 地域特性を踏まえた都が果たすべき役割

- 大消費地としての特性 ⇒多様な価値観、不安・不信の先鋭的な出現
 - ・ 正確に、分かりやすい情報を迅速に提供する役割
 - ・ 多様な方策により関係者との相互理解を進める役割
- 事業活動等の中核機能が集中 ⇒先進的な取組と全国へ波及
 - ・ 事業者をはじめとする関係者の自主的取組を普及・促進させる役割

3 今後の都の取組（提言）

- 都の施策に関するリスクコミュニケーション推進
 - 広く、分かりやすい情報提供
 - ・ 科学的な情報を食品安全情報評価委員会にて分析・評価し分かりやすく発信
 - ・ 子供向けサイトなど受け手の年齢層などに応じたきめ細かい情報提供
 - 関係者と意見交換を図る多様な方策
 - ・ 都民、事業者からの相談や質問を踏まえ、「食品安全FAQ（よくある質問に対する回答）」の発信
 - ・ 都民フォーラム、ネットフォーラムのほか、ポスターセッション、製造工場での体験型交流など多様な方法での実施
- 事業者をはじめ関係者によるリスクコミュニケーションを促進・支援
 - ・ 自主的な情報公開の促進
（自主回収報告制度、食品衛生自主管理認証制度の普及促進）
 - ・ 事業者の先進的な取組の普及を図るシンポジウムの開催
 - ・ 食品の安全確保に取り組むNPO等とのネットワークづくり
- リスクコミュニケーション推進に向けた基盤整備
 - ・ リスクコミュニケーションを推進する情報の分析・受発信、各局連携の強化
 - ・ 都民、事業者との連携を通じて、自主的な取組や人材育成へ活用